

令和6年度 久佐まちづくりセンターの主な取組

事業名

久佐地区合同サロン くざまんなかサロン

P

●事業実施に至った背景、目的

令和5年度から始めたこの取り組みは、サロンリーダー交流会を行った際に、各々でのサロン活動に限界を感じているという声がきっかけだった。「社協のコーディネーターがいなくなり企画が難しい」「高齢化で集会場所までの移動が出来なくなった」など。定着していたサロン活動を無くすのではなく、形を変えて続けていける方法を考え始まったのが【くざまんなかサロン】。全町内の方を対象に、久佐の真ん中にある“まちづくりセンター”を会場に、企画・交通対策はまちづくりセンター（まちづくり振興会協力）、人集めはサロンリーダー、と協力することで久佐地区の合同サロンを開催。買物支援として野菜等の販売も行い、気軽に集える居場所とした。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打ち合わせ等)

サロンリーダー交流会…R5年6月（6名）／関係機関…goodriver、金城支所市民福祉課、わがままパン屋えきママ、竹田屋の欽ちゃん焼き、美肌食堂、地元農家、ママカフェ、まちづくり振興会、ルトレット他

D

●事業の概要

開催日：令和5年度2回開催（参加者計63名）／令和6年度3回開催予定（6月45名/10月36名/1月）

内 容：・健康体操～笑って楽しく介護予防～

・ミニコンサート

・保健師による健康チェックコーナー

・買物コーナー（惣菜・小物雑貨・手ごねパン・とれたて新鮮地元野菜・大判焼き）

・あいのりタクシー予約・相談ブース

・喫茶コーナー ・フォトブース

C

●事業実施後の振り返り

サロンリーダー、まちづくり振興会と協力し、全町内を対象とした個人への声掛けと交通対策ができ、多くの方の参加があった。「懐かしい人との再会に涙が出た」「久々に化粧をして外に出た」「定期的にやってほしい」などうれしい感想があり、今年度は回数を増やし実施した。地域課題である交通対策（あいのりタクシーの相談や利用など）、買物支援にも取り組むことができた。何よりも住民同士の交流の場となり、沢山の笑顔を見ることができた。

A

●令和7年度以降の方向性

今後も継続して定期的な開催を予定しているが、ただ継続・定着させていくだけではなく、マンネリ化しないよう新しい企画を取り入れながら地域の方の楽しみになるようなサロンにしたい。この事業をきっかけに、文化祭もサロン風の会場にしたところ大変喜ばれた。地域の方の意見や希望などを聞き、柔軟に対応しながら進化させていくことが大切だと思う。各関係機関と協力し、課題や問題を解決しながら、地域の方が楽しみ、笑顔の場となるよう続けていきたい。

大人気！健康体操

買物コーナー



ミニコンサート

健康チェック

あいのり予約相談



フォトブース